

営業も設計も兼ねて、プラン～施工～アフターまで一軒の家とトコトンつきあうのが強みです

「複数の視線で」
先輩の女性たちにアドバイス

「女性は鋭いデザイン感性を持っていますが、施工上の納まりや詰めが甘い場合も。ですから、現場の担当者によく話し合っ、一方通行にならないように。この仕事はチームワークが大切だと思います。私自身、若いころは自分の思いが強すぎて、『どうしてわかってこないんだろう』『アールに設計したのに、なぜ四角く施工しちゃうの?』と不満な面も…。しかし現在は、複数の目で判断しながらつくり上げるほうが、バランスのとれたものが完成することを実感しています」



エクステリアプランナー
森本明美様

当社は創業14年。スタッフは営業兼設計が3名、工務が1名、事務が1名です。営業と設計を同時にこなすので、仕事は忙しく手離れも悪いですが、一軒のお宅と最初から最後までおつき合いできますから、プランの修正やアフターまでキメ細かくフォローできるのが強みです。実績は年間120棟前後です。現在、受注の比率は、ハウスメーカー3：工務店3：個人のお客様4ぐらいで、個人のお客様の割合が少しずつ増えています。個人のお客様は、以前手がけたお宅のリポートや、そのお宅からのご紹介が中心です。打ち合わせは、1回目か叩き台、2回目で方向づけをして、3回目で決めることが多いですね。あまり長引くとかえってまとまらないので、3回目には最善のプランを決め込んで、提案します。そのほうが、お客様も決めやすいみたいです。基本はあくまでも「お客様のご希望」で、私たちはそれにちょっとアイデアをプラスするだけ……ということは、つねに忘れないようにしています。デザインをする際、気をつけているのは「フォーカルポイント」を決めること。主役と脇役をはっきりさせると、空間にメリハリがつかます。また、色には気を使い、配色や分量などバランスを大切に組み合わせています。広報活動としては、チラシをつくってポスティングするといった地道な作業を続けています。最近ホームページをつくりましたが、そこからの問い合わせも増えてきています。また、工事がすんだお客様宅には、和紙の葉書で手書きのお礼状をお送りしています。時がたつて生活が変わればリフォームも必要になるだろうし、お友達のご紹介もあるかもしれません。ですから、お客様とは息の長いおつき合いをしていきたいと考えています。ちなみに、当社は社長が大の三協アルミファンで、三協アルミさんの製品はよく使わせていただいています。「製品がしっかりしていて、クレームがない」というのがその理由。また、最近はカラーも豊富になり、斬新なデザインも増えてきて、幅広い年代層に受け入れられるようになってきていると感じますね。

Before



【狭い駐車場】
リフォーム前は駐車場が狭く、1台しか駐車できなかったのが不満でした。そのため2台分の広い駐車場をご希望に。



【全景】
白い塀に松の木…という典型的な和風エクステリア。和の雰囲気は残しながら、もう少しモダンな感覚にリフォームしてほしい、というのがお客様のご要望でした。



【アプローチ】
せっかく開口のある庭なのに、駐車場も門も独立しているため、それぞれが狭苦しく見えてしまっています。アプローチや駐車場の動線もやや窮屈で動きにくそうです。

M様邸

リフォーム部門優秀賞受賞

以前、前庭には立派な松の木と車1台分の駐車場がありましたが、リフォームにあたって出されたのが「2台分の駐車場を」という要望。そのため松の木を取り除き、アプローチも兼ねた2台分の駐車スペースを確保しました。駐車場の屋根には「Uスタイル」を採用。重厚な梁が、建物のグレード感と見事に調和して落ち着いた、たたずまいを見せています。ご主人も「うん、いいね!」と大満足とのこと。道沿いの白壁の塀は既存のもので、それに新たに竹垣を組み合わせ、バランスのとれた和風エクステリアを実現。竹垣は、樹脂竹垣の「紗更」です。

After



【全景】
塀の一部を残し、前庭の左側半分スペースを使って、アプローチを兼ねた2台分の駐車場を設置。「Uスタイル」の重厚感のある梁が和風住宅に美しく調和しています。既存の塀の白、瓦や石垣のグレー、竹垣のベージュ、門扉や駐車場屋根のダークな色調と、絶妙な色の配分は森本様ならではのセンスです。



【アプローチ】
駐車場の屋根のおかげで、雨でも濡れずに家に入れます。敷き詰めた小砂利は緑や紫の絶妙な色調で、ご主人のお気に入り。



【門から玄関へ】
風格ある門。門扉は「ニューカムフィ」、竹垣は「紗更」を採用。シンプルなラインにモダンな和を感じます。

